

審議資料

項目：参加・協働（ボランティア、コミュニティ、環境への意識）

担当：中口委員

意見

【ボランティア】

- 1 テストイベントにおけるボランティア活動（シティキャスト）の検証結果を明らかにするとともに、ボランティアの健康・安全対策など新たな対策を取りまとめた場合はその内容を記載すること。

【ボランティア】

- 2 現況調査において東京都内及び東京都外の一部の自治体によるボランティアの募集内容を取りまとめているが、これらの自治体以外でもボランティアの募集を行っている場合はその内容を記載すること。

【ボランティア】

- 3 大会で多くのボランティアが活動を行うことも踏まえ、フォローアップ等で、大会時のボランティアの活動状況と共に、大会の実施により増減と思われるボランティア活動の状況を適切に把握すること。

【コミュニティ】

- 4 現況調査において、自治会・町会等の状況で地縁団体数を挙げていることから、自治会・町会等の活動状況についても明らかにすること。

【コミュニティ】

- 5 現況調査において、公民館や学校などの公共施設の設置数を挙げていることから、これらの施設において行われているコミュニティ活動の状況についても明らかにすること。

【コミュニティ】

- 6 新たな地域コミュニティの状況として SNS 等を挙げていることから、地域における SNS 等を用いたコミュニティ活動の状況についても明らかにすること。

【環境への意識】

- 7 「東京 2020 大会では、使い捨て型ライフスタイルの見直しへの転換を図るため、使い捨て型製品の使用の抑制、レジ袋の削減を図るとともに、観客等への啓発を行う。」としていることから、具体的な啓発の内容及び方法を明らかにすること。

【環境への意識】

- 8 選手村地区においては、環境負荷の小さい燃料電池バスの運行を行うとしているが、フォローアップでは、選手村の燃料電池バスをはじめとした、大会全体の燃料電池自動車・バスの稼働台数を明らかにすること。

【環境への意識】

- 9 大会時において選手村の水素関連施設の一部を先行して稼働させ、世界に取組を発信していく予定としていることから、ミティゲーションでその発信方法を明らかにすること。

【環境への意識】

- 10 オリンピック精神の第三の柱である環境については、大会を契機に様々な取組が行われることから、フォローアップでは、それらの実施により増減すると思われる都民等の環境への意識に対する変化について、実際の行動を多方面から捉えて報告すること。